

R.I.District 2670 高松南ロータリークラブ

12月号



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2023 - 2024

世界に希望を生み出そう



RI会長：ゴードン R. マッキナリー 会長：熊田 浩 幹事：住田英樹

例会場／JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30～13:30

世界に希望を生み出そう

2023-24年度

11月1日 第17回

日時／令和5年11月1日(水)12:30～
場所／JRホテルクレメント高松
プログラム／新会員卓話 村上達郎会員

会長挨拶 会長 熊田 浩

先週の、新会員歓迎会は、楽しい時を過ごせました。リレースピーチは、とてもよかったと思います。プログラム委員長の多田エレクトと相談して、今後、昼の例会でも、リレースピーチ例会を何度か企画していきたいと思います。

先週、前田会員の演説にあった、YCCですが、昨日の日銀政策決定会合で長期金利が1%を超えることを容認したことにより、日本の金利は上昇。素人が考えると日本の金利が上がるのだから、日米金利差が縮小し、円高になるのではと思いましたが、為替は151円超の円安になりました。マーケットは、日銀の政策が消極的と判断し円安になったと、経済紙では報道されています。この状況で為替介入があるのか、興味のあるところですが、さて、私の仕事は金属リサイクル業です。我が業界では円安は金属価格の上昇要因になりますが、鉄スクラップの価格決定要因は、需給面の影響も大きく、足元は、中国経済が弱いので海外需要が弱く、東京製鐵（株）が発表する鉄スクラップの価格は、昨日、5月以来、約半年ぶりに下げに転じました。銅やアルミなどの非鉄金属の価格は、為替要因で上昇しています。相場の変動は、会社の業績に大きく影響します。上げ相場は、比較的のんびりしていられるのですが、下げ相場は、出荷を急ぐ必要があり、慌ただしくなります。これまで、ロータリークラブの会長職をなんとか務められたのは、上げ相場だったからです。今後も会長職を全うできるよう、下げ相場にならないよう祈りたいところです。本日は、昨年6月30日付で入会されました、村上達郎会員にイニシエーションスピーチをしてもらいます。

新会員卓話

村上達郎 会員



「自己紹介」

新会員卓話ということで、いったい何について話すべきか考えてみましたが、皆様に前になる話をするというのも難しいため、自己紹介をさせていただきたいと思います。とりとめのないお話になると思いますがよろしくお願いいたします。

改めまして7月より新会員となりました村上達郎と申します。現在、村上ホールディングスの管理部課長、そして村上組の総務部課長を兼任しております。村上という名字からお察

しの方も多いと思いますが、社長の親戚にあたります。社長の息子、というわけではなくて、自分の父親が村上組の副社長をやっております。

誕生日は平成元年3月17日生まれで現在34歳です。今のところ高松南ロータリー最年少ということだそうです。高松南ロータリー最年長である渡辺会員の誕生日を祝う会で自分が卓話を行うということで何やら奇妙なご縁を感じます。若輩者ですがよろしくお祈りします。平成元年生まれということで、いわゆる「ゆとり世代」の先駆けの年代です。学校も隔週土曜登校していたのがどんどん変わって行って、高校の頃には完全週休2日制になっていました。

大学進学から新卒で入社した不動テトラを退職するまでは県外にいたのですが、村上組に入社するにあたって香川に戻ってきて今は独身で実家暮らしという状況です。

学生時代は弓道に打ち込んでいました。高校から弓道部に入部したのですが、入部時は特に理由はなく友人に誘われてふらっと入ったのですが大学まで7年間続けることになり自分の人生に大きく影響を与えることになります。高校受験は周りの環境にも恵まれて成績も伸びていき、北海道大学に合格することが出来ました。高校3年生が人生で2番目に勉強していた時期です。

当然、大学でも弓道部に入部する訳ですが、北大の弓道場は24時間使用可能で昼間だろうと深夜だろうと大体誰かは道場にて練習している、そんな環境でした。そんな中で弓道に打ち込み、3年目で弓道部の主将を務め、争覇戦、いわゆる北海道大会で優勝して伊勢神宮で王座戦に出場することができました。男女ともに王座戦出場は弓道部史上初の事でした。

弓道にひたすら没頭する中で本業である学業には全く力を入れていませんでした。人生で一番勉強していなかった時期でもあります。あまりに勉強しなさ過ぎて（授業に出なさ過ぎて）北海道大学を中退となり色々あって岡山商科大学に再入学しこちらは無事卒業しました。あまりに恥ずかしくてあまり周りに言いたくない過去ではあるのですが、「岡山商科大学卒業」より「北海道大学中退」の方が面白い、ということで人前では北大中退とあえて言うようにしています。

大学卒業後は不動テトラに入社し、4年間、東京港事務所では地盤改良、特に液状化対策工事の施工管理の補助をしていました。液状化対策というのは 東日本大震災で東京ディズニーランドの駐車場が液状化を起こして車が泥に埋まったニュースが有名です。

その後、村上組に入社し土木部に配属となりました。村上組の現場では発注者との調整から多数の業者との工程管理や安全

管理、住民への配慮等、考えなければならないことが多く、不動産テトラでは下請けの専門業者という立場で施工管理をしていたのですが、村上組では元請として現場管理を行うことの方が多く、元請と下請けではこんなに違うのかと驚きました。

入社4年目からは総務部へ配属となり同時に村上ホールディングスの管理部も兼任となりました。総務部になってからの2年間は財務や経営、法律など知らないこと、学ばなければいけないことが多くあり、今のところ人生で一番勉強してる時期です。

ロータリークラブへの入会も勉強の一環というわけなのですが入会させて頂いて非常に貴重な経験をさせて頂いているなど感じています。未熟な部分も多いですがこれからもよろしくお願いたします。



ソングリーダー 平井信一会員



誕生日祝 最年長会員 渡辺成剛会員



米山功労者表彰 小野兼資会員



米山功労者表彰 渡辺成剛会員



米山功労者表彰 詫間行芳会員



例会場21Fシエラ



お客様



ロータリーソング 斉唱

ココココ箱

村上会員「つたないお話を聞いていただきありがとうございます。精進いたします。」

渡辺会員「お誕生日のお祝いありがとうございます。」

黒淵会員「先週は歓迎会をして頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。」

香西会員「前回の例会では、皆様ありがとうございます。2次会でも歓迎会をしていただきありがとうございます。」

伊藤会員「お先に失礼いたします。」

計¥18,000 合計¥205,000

会員掲示板

- メイクアップ/8名
- ビクター/1名

ロータリーソング
「国歌 四季のうた、パースデーソング」
ソングリーダー「平井会員」

2023-24年度 11月8日 第18回

日時/令和5年11月8日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

プログラム/新会員卓話 濱川義弘会員

会長挨拶 会長 熊田 浩

先週の土曜日、徳島で開催されたローターアクト地区大会に住田幹事、地区委員の田中理会員と参加してきました。私が運転して、住田幹事と車で行ったのですが、車中で、住田さん曰く、今年は人生で最も多く徳島に行っているとの事です。昨年のロータリー財団補助金セミナー、3月の地区協議会、9月にはクラブ活性化セミナー、そして、今回のローターアクト地区大会、言われてみればそうだと思います。これまでの会議は、午前中の開催で会場はグランビリオホテルでしたが、今回は午後15時からの開催で、会場は徳島駅のクレメントでした。これまでと、時間と場所が違うので事件が起こりました。案内状をよく確認せず、条件反射的にグランビリオホテルに向かい、住田さんをフロントで降ろし、駐車場に車を止めていると、住田さんが「会場はクレメントですね」と言って戻ってきました。急いでクレメントに向かいましたが、3連休の中日ということもあって、徳島名物の渋滞に巻き込まれ、遅刻してしまいました。住田さんを先に降ろし、立体駐車場の最上階でようやく駐車スペースを見つけ、私が会場に着いたのは開会の10分過ぎでした。吉岡ガバナーの挨拶にはギリギリ間に合いましたが、大変疲れました。さて、ローターアクトの地区大会ですが、地区内外のローターアクター60名、地区内のロータリアン40名、合計100名が参加し、徳島RACがホストクラブを務めました。徳島RACは、社会人クラブですが、現在の会員は全員、大学生だそうです。香大RACからは17名が参加しました。大会プログラムは、徳島RAC会員のベトナムからの留学生が、担当教授にお願いして企画したそうです。香大RACには留学生はいませんが、米山奨学生を勧誘するなど、ロータリーの活動を有機的に結合することを考えていくべきだと思います。地区内のローターアクトクラブは現在6クラブが活動中ですが、松山RAC以外は、いずれも学生クラブです。国際ロータリーの定款上は、ローターアクトは青少年奉仕の一つのプログラムではなく、ロータリークラブと同じ、国際ロータリーに加盟する一つのクラブという扱いになっています。しかし、学生クラブが自立するのは難しく、従来同様、ロータリークラブの庇護のもと運営されているのが現状です。活動資金もロータリークラブが補助金を出していますが、今後は少しずつ学生クラブを自立させていく方法を考える事が重要だと思います。単年度で答えがでる話ではないので、クラブとして継続的に検討していきたいと思います。

新会員卓話

濱川義弘 会員



「自己紹介」

新会員卓話ということで、この度は貴重な機会を頂き有難うございます。私の自己紹介と弊社の会社案内をさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

まず、自己紹介を簡単に申し上げますと、現在45歳で家族は妻と4人の子供（4女）に囲まれて生活をしております。趣味はランニングです。今年の5月にロータリーに入会后、野球部にもお誘い頂き、楽しく活動しております。

私は新卒で大豊産業に2000年入社後、高松支店で23年勤務しております。

会社案内に進みますが、1949年10月26日創立、今年75周年を迎えることが出来ました。高松南ロータリーの会員様にも弊社の直接取引させて頂いているお客様もおられ、このように永く支えて頂いている皆様に感謝でございます。社員は単体で251名（グループ会社464名）でございます。事業は主に3本の柱で構成されており、「省力化関連事業」・「インフラ整備関連事業」・「新エネルギー・IoT関連事業」になります。

「省力化関連事業」では、お客様の「便利」をトータルにバックアップを掲げ、ニーズに合った計測制御機器から各種システム、メンテナンスまでをまとめてご提案、ご提供させて頂きます。「インフラ整備関連事業」では、お客様に喜ばれる「街づくり」を電気・通信・土木の分野で商品提案から工事・設計・保守のご提案をさせて頂いています。

「新エネルギー・IoT関連事業」はここ10年間での事業になります。「新エネルギー」分野では、太陽光の設計業務を含めた設備提供を主に公共案件を中心に県内だけでも100件以上の実績がございます。

最近の取組みとしては、「脱炭素（ゼロカーボン）」の社会づくりを目的に、EV車のシェアリングなど四国でも新しい取り組みを行っております。また、世界最小の4人乗りの水に浮くクルマ「FOMM（EV車）」を導入し、電気自動車開発技術を基にした新規開発事業にも取り組んでいます。

「IoT」分野では、ロボットやドローン、AIなどの技術を取り込み、現場の可視化・効率化のご提案も行っております。

また、高校生向けに「ロボットアイデア甲子園」を開催し、将来の若手人材の育成にも繋げていきたいと思っています。今年も四国で100名の高校生に参加して頂くことが出来ました。

75周年を迎え、新たなチャレンジとして「空飛ぶクルマ」を開発するSkydrive社と四国での事業の連携開始とタイ事務所の設立をしました。

経営理念にもある「社員物心両面の幸福」を実現する為にも、「考え方（-100~100）」×「熱意（0~100）」×「能力（0~100）」の「考え方」を大事にし、「人間力」と「技術力」を磨いて参りたいと思います。

本日はこのような機会を頂き、有難うございました。

これから精進して参りますので、皆様ご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。



吉田(茂)会員「旭日中綬章をいただきました。皆様のお祝いの気持ちに感謝。」

計¥20,000 合計¥225,000

会員掲示板

●メイクアップ/11名

ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー「平井会員」

2023-24年度

臨時総会(指名委員会承認)/定例理事役員会
11月15日 第19回

日時/令和5年11月15日(水)12:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 熊田 浩



委員会報告で堀委員長から詳しい報告がありますが、昨晩は、沖縄の波照間先生、県立芸大波多野学長、那覇南ロータリークラブの稲垣次期会長、三木町関係者、鎌倉芳太郎顕彰プロジェクト委員会の皆さんと会食でした。顕彰碑の石材が決まったそうです。波多野学長からは、芸大内で顕彰碑建立についての合意形成の苦労話をお聞きし、楽しい時を過ごしました。さて、本日は来月のクラブ年次総会に向けて、クラブ役員選挙のため指名委員会を設置する臨時総会を開催します。役員選挙にのぞむ基本的な考え方について、簡単にまとめましたので、後ほど時間を頂き、説明させていただきます。キーワードは、国際ロータリーのコアバリューの一つ「INTEGRITY=高潔性」です。JFKの大統領就任演説をかりれば「クラブに何かを求めるのではなく、あなたがクラブに何ができるかを考えましょう。」です。また、100歳を過ぎても創作活動を続け、107歳で天寿を全うした彫刻家の平柳田中さんの「やってやれないことはない。やらずにできるわけがない。今やらずしていつできる。わしがやらねばだれがやる」という名言を実践するときです。経営の神様、松下幸之助さんは、「できない理由をさがすより、どうすればできるかを考え抜こう」とおっしゃっています。

会員の皆様におかれましては、会長指名を打診されましたら、指名委員長に敬意を払い、謹んで会長指名をお受けいただくよう、宜しく願い申し上げます。

幹事報告

住田 幹事

会長挨拶、幹事報告、委員会報告（香川県RC親睦ゴルフ大会、野球部活動、鎌倉芳太郎顕彰プロジェクト委員会懇親会）のあとに臨時総会が開催された。冒頭、熊田会長より次々年度会長指名においてロータリーの考えでもあるIntegrity（高潔性）のもと真摯に受け止めてほしいとの話があり、その後で委員長に篠田日出海62代会長、委員に今城広治64代会長、田村禎啓65代会長、白井克彦66代会長を選出し指名委員会を発足させた。

指名委員会にて次期会長を選出し、12月6日のクラブ年次総会にて決定する予定となった。



白井会員「第15回香川県RC親睦ゴルフ大会に参加してきました。団体戦は9位、個人賞は88位で景品を頂きました。ラッキー。私がつと頑張っていればもっと上位に入賞できたと思います。参加した皆様ごめんください。今になって、昨年のゴルフ大会の疲れが出たのでしょうか？来年は上位入賞できる様に皆様ぜひぜひ参加して、クラブを盛り上げましょう。」

計¥2,000 合計¥227,000

会員掲示板

●メイクアップ/12名

ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー「黒淵会員」

2023-24年度

11月22日 第20回

日時/令和5年11月22日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

プログラム/新会員卓話 黒淵忍会員

会長挨拶 会長 熊田 浩

はじめに、当クラブ会員でもありました、牟礼会員のご尊父、牟礼昌忠さんが8月31日、81歳でご逝去されました。故牟礼昌忠会員のご冥福をお祈りし「黙祷」。

日曜日、東かがわRC50周年記念式典に住田幹事と参加してきました。東かがわクラブには、チャーターメンバーが1名おられ、92歳の最年長会員の方がお元気に登壇されている姿に感銘を受けました。在籍30年以上の会員が6名登壇されていましたが、当クラブには在籍30年以上の会員が太田会員の65年を筆頭に15名おられます。改めて、高松南ロータリークラブの歴史と伝統の重みを実感しました。記念講演はジャグリングパフォーマーの在日コリアン3世「チャンヘン」さんのパフォーマンスと講演でした。1951年のサンフランシスコ平和条約で日本は主権を回復しましたが、この時、戦前日本だった朝鮮、台湾出身者は、日本国籍を失ったと聞きました。1910年の日韓併合前は、朝鮮は一つの国でしたが、第二次世界大戦後、2つの国に分断され、しかも1951年当時は、朝鮮戦争が勃発していたので、日本国籍を失った朝鮮人の中には、国籍を選択しない人も多くいたとのことでした。「ちゃんへん」さんの家も、国籍を選択せずに無国籍だったようですが、中学生の時ジャグリング修業のため渡米する際、パスポート取得の必要に迫られ韓国籍を取得したそうです。出身地が北緯38度より北の出身者は、韓国籍の取得に抵抗がある方もおられるとのことでした。恥ずかしながら、このような事情を初めて知りました。また、在日理由に壮絶ないじめにあった事や曾祖母の次の言葉を胸に、ジャグリングに打ち込み、世界チャンピオンになったという話に感銘を受けました。「ナニジンとかはカンケイないんやで。ヒトはな、イジメられたくなかったら、ヒトよりドリヨクセなアカン。だから、いつかジブンがガンばれるもんにデアったら、それをイッシュウケンメイガンバってイチバンになりなさい。イチバンになったらな、イジメられるどころか、オマエをマモってくれるヒトがタクサンアツまってくるんや。だからそういうジンセイアユみなさい」講演の内容は、ホーム社より「ぼくは挑戦者」という本に詳しくまとめられていますので、購読をお奨めします。

新会員卓話

黒淵 忍 会員



「自己紹介」

本日はお時間をいただきましてありがとうございます。自己紹介と普段の仕事内容などを紹介させていただきます。

私は建築設計事務所を営んでいます。2008年に設立し今年で15年ほどになります 私は1971年昭和46年生ま

れで今年52歳になります。学校弦打小学校、大手前高松中学校・高校、東海大学工学部を卒業しまして、新卒で太平住宅新宿本社に入社し、その後、東京ナショナル住宅産業の横浜支店に勤務。30歳で高松に帰り、吹穴興産、アナブキホームに8年ほど在籍。その後独立し現在に至ります。家族は妻と母親と娘2人の5人で暮らしています 娘は小学校5年生と2年生でして、子育ても絶賛頑張っております。旅行（最近はこちらの家族旅行がおおいです）料理変わった料理を作るのが好きで、ひよこ豆のフムス、ケバブ風焼肉を作ってみました。いつか、中東に行きたいと、料理を食べながら考えています。私が作る料理はこんな感じでいつもと違う新たな味の体験を求めて遊んでいます。

今回ロータリークラブに推薦して頂いたお二人、宝工業の吉田さんとソバハニさんとの関係を紹介させていただきます。吉田さんとは事務所設立当初から三本松の児島建設さんを通じて私の設計する建物の設備関係を支えていただいております。吉田さんと仕上げた外科クリニックの病院は設備廻りの仕事が複雑で気をつかいます。水道や下水廻りのややこしいことも吉田さんに相談するといつの間にかかたずいています。いつも頼りにさせていただいています。今後ともよろしく願いいたします。また、吉田さんとの最新作の高松空港近くにある薪ストーブの会社「薪おじさん」のショールームですが、こちらも無事完成し喜んでいただきました。ちなみに薪おじさん社長の橋本さんは徳島脇町ロータリークラブのロータリアンでいらっしゃいます。27年の在籍していらして会長も務められたことがあるそうです。私もロータリーに入会したと申しましたら、機会があれば高松南Rにメイクアップさせていただきますとの言葉をいただきました。

紹介者のもう一方はソバハニさんです。ソバハニさんとは2009年14年前にスペインで知り合いになりました。スペインのサンティアゴでコンポステラという巡礼の道を歩く集まりに私とソバハニさんが参加していました。四国88か所のお遍路さんのイメージです。全行程1200キロ近くある私たちは最後の200キロを1週間程度歩く予定でした。スペインの美しい景色、おいしい料理もさることながら、ソバハニさんとご一緒できたことでこの旅行が素晴らしいものになりました。その後の私の人生にすごく影響を受けることばかりでした。まず、衝撃を受けたのがソバハニさんのコミュニケーション力です。とにかく、出会う人とにかく話しかけていきます。英語が通じなくても関係ありません。身振り手振りで会話や交流を楽しんでいました。この道端で日向ぼっこをしているおじいさんも畑の野菜をかじらせてもらったり、写真を一緒に撮ったりしていました。もちろん英語は通じません。国際交流の神髄を体験しました 帰国してソバハニさんの奥さんに「ソバハニさんみたいな外国の人のコミュニケーション力にびっくりしました」と申しましたら、奥さんは「ソバハニは特別すごすぎる、外人でもあんな人はあまりいない」とおっしゃっていました。ソバハニさんが道中でよく食べていたサラダの紹介です。レタストマトオニオンチーズを塩、オリーブオイル、ワインビネガーだけでシンプルに味付けしたのですが、非常においしく、日本に帰ってから我が家のサラダはこの味付けになりました。その後、ソバハニさんがオリーブオイルを輸入しだしてからは、ソバハニブレンドオリーブオイルを愛用しています。その他にも一日

中ご一緒させていただく中でいろいろな事をビジネスの仕方、英語、生き方、おすすめの新婚旅行の行き先などをたくさん教えていただきました。本当に濃密な1週間の旅行体験は生涯忘れることはないと思います。ありがとうございました。このような旅行・料理・読書のだいが味は知らない世界での新しい体験であると思います。私の仕事、建築も新しい「空間体験」を目指しています。

ここで私の仕事内容を紹介させていただきます。主に住宅の依頼が多いですが他にカフェなどの店舗、事務所、病院などの依頼が多いです。住宅は無垢の木や漆喰壁など自然素材を使った家をお勧めしています。いつもと違う体験をめざしてレストランのようなダイニング、リゾートホテルのロビーのようなリビング、温泉旅館のような和室と風呂、毎日をいまままでと違った空間体験ができるよう考えています。これは外科クリニックですが最近ではコロナの影響で隔離診察室や外のポーチを広くとってふれあいテラスなるものを作っています。みると、いつもここでタクシーを待つ高齢者の方が井戸端会議をされています。もちろん熱のある方はここで待って外から直接診察室へ入れます。これは歯医者さんの待合室です。子供が多いので怖さを感じない家庭的な雰囲気を目指しました。これは手術室ですが、最新機器でいたくない治療を目指していらっしゃいました。これは宇多津にある絶景のカフェです。うみを邪魔しないカラーリング。最近ではコンスタントに小豆島にご縁がありまして、今は理容室をさせていただいています。施主のお題は「ニューヨークのブルックリン地区の床屋」でした。建築とは空間体験・そこで起きる現象そのものをデザインすることです。軒下とデッキを作ると洗濯物を干したり、七輪でなんかあぶりたくなる。天井を高くするとライトやハンモックをぶら下げたくなる。柱に枝を残すと帽子やランタンなんかをかけたくなる。子供は上りたくなる。庭に芝と木を何本か植えるともうリゾートになる。このようになるべく楽しくリラックスできる空間体験や現象をデザインすることに努めております。もし皆さんが毎日に「まんねり」や「退屈」を感じているなら、何か新しい体験をお勧めします。新しい空間体験ができる建築が必要であればぜひご用命ください。

本日はご清聴ありがとうございました。

ココココ箱

ソバハニ会員「今年のオリーブオイルの初しぼり (Olio Nuovo オリオヌーボ) を仕入れにポルトガル・リスボンに行ってきました。今週は富山南ロータリークラブの創立60周年に参加します。おかげ様で。」

多田会員「お先に失礼します。」

伊藤会員「お先に失礼します。」

計¥6,000 合計¥233,000

会員掲示板

●メークアップ/10名

ロータリーソング「それこそロータリー」
ソングリーダー「黒淵会員」

鎌倉芳太郎顕彰碑建立 カンパニア中

詳細はホームページをご覧ください

鎌倉芳太郎先生 (1898年10月19日～1983年8月3日)

略歴-沖縄とのかかわり (抄)

- 1898年 香川県木田郡氷上村に生まれる
- 1918年 香川県師範学校本科第一部卒業・東京美術学校図画師範科入学
- 1921年 東京美術学校卒業
沖縄赴任の前に奈良の古美術見学を志した
唐招提寺において、鑑真和上が「阿児奈波 (沖縄)」に漂着していることに興味を覚えた
- 1921年 沖縄県女子師範学校・沖縄県立第一高等学校教諭赴任
- 1923年 沖縄県女子師範学校・沖縄県立第一高等学校教諭退職
東京美術学校研究科へ入学
- 1924年5月～1925年5月 第1回「琉球芸術調査事業」
- 1926年4月～1927年9月 第2回「琉球芸術調査事業」
- 1930年 東京美術学校講師 — 東洋美術史を講じる
- 1942年 東京美術学校助教授となる
- 1944年 東京美術学校依願免官
- 1945年 自宅戦災に遭い、東洋美術資料等焼失
- 1960年 新潟大学高田分校非常勤講師
- 1972年 「五〇年前の沖縄—写真で見る失われた文化財」展
琉球政府立博物館 18万人の入場者
- 1972年 沖縄日本復帰
- 1977年 石垣市名誉市民
- 1982年 「沖縄文化の遺宝」出版 「伊波普猷賞」受賞
- 1983年 死去 (享年84歳)

香川県三木町生まれ

鎌倉先生は1898年10月19日、香川県木田郡氷上村に生まれましました。緑豊かなところで少年時代を過ごしましたが、7歳の時にお母さまが亡くなり、おばさまに育てられました。学業は優秀で、14歳の時に香川県師範学校に入学し、1年から4年までずっとトップの成績を修めました。師範学校時代には、教諭であり、後に玉川大学 (学園) の創立者となった小原國芳先生にかわいがられました。

卒業後は東京美術学校 (現東京芸術大学) 図画師範科という美術の教師になるコースに進みました。

「白山に あやにかけたる水車 こをひく音の 昔こほしや」
(鎌倉春熙)

白山から登る太陽に思いをはせ、粉をひく音を思い浮かべながら、昔の思い出を偲ばせたのだと思います。

鎌倉先生は生涯、故郷を愛していました。

沖縄と香川のご縁

鎌倉先生は収集した絵師の絵114枚を石垣市に寄贈したこともあり、1977年に第一号の石垣市名誉市民となっています。これらの絵画116枚も国の重要文化財に指定されています。そして、鎌倉先生は三木町名誉町民でもありますので、遺した偉業の顕彰を通じて、石垣市と三木町、そして沖縄と香川の文化交流がますます進むことを期待しています。

高松南ロータリークラブと那覇南ロータリークラブ、沖縄県立芸術大学とのご縁は十数年前から始まり、先日沖縄に沖縄鎌倉芳太郎顕彰会が設立されました。香川県三木町には2010年に鎌倉芳太郎顕彰会が鎌倉芳太郎顕彰碑を建立しています。そし

て今度は、首里城近くに沖縄での顕彰碑建立計画が進み、その建立が間近となっています。ぜひ皆様のご協力をお願いしたいと思います。

鎌倉先生は沖縄文化の恩人です。沖縄県民は皆、鎌倉先生の功績に心から感謝しています。

今回の波照間先生の来高は、主催は（一社）三木町観光協会、共催は鎌倉芳太郎顕彰会と（公財）三木町文化振興財団、

後援は三木町と三木町教育委員会、高松大学・高松短期大学が、鎌倉芳太郎没後40年に合わせて企画した、「首里城を3度救った三木町出身の鎌倉芳太郎」シンポジウム（2023年9月24日）の基調講演講師としてお呼びしたものです。お忙しい中にもかかわらず、高松南RC例会でもご講演いただきました。ありがとうございました。

2023年12月 疾病予防と治療月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考
22	6	12:30~	JRホテルクレメント高松	クラブ年次総会	
23	13	18:30~	JRホテルクレメント高松	忘年家族会	(夜間)
24	20	12:30~	JRホテルクレメント高松	第5回 クラブ協議会 (5大奉仕活動半期報告)	
		13:30~		定例理事役員会	
	27			休会 (定款第7条による)	

2024年1月 職業奉仕月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考
	3			休会 (定款第7条による)	
26	10	18:30~	花樹海	新年例会	(夜間)

編集後記

サービスや商品に安全・安心を求めるのはユーザーとして当然のこと。そして、できれば早く、安く。それに応えて働く、それがあたりまえの社会でした。社会のシステムのなかに、「いつか報われる」という希望が、そして「誰かが見てくれる」という期待があったからこそその社会でした。それなくしてはどんな人でも、力が入らない。そんな人間集団が押し進める活動の最大の武器はクチコミではないでしょうか。

「マーケティング近視眼」という有名な論文の一節に、クチコミを広めるには2つの要素が必要です。雪だるま作りになぞらえると「雪質」(＝クチコミ情報)と「雪玉」(＝知覚認知度)です。クチコミが成立するには、クチコミの発信者と受信者が必要です。発信者にとっては、尊敬や共感などの社会的な利点が発信の誘因となります。発信者がそうした利点を得るには、受信者がそのクチコミ情報によって機能的・情緒的利点を得る

必要があります。つまり、クチコミが広がるには、発信者・受信者双方が利点を得る状況をつくり出さなくてはなりません。いくらマーケターが金銭的な誘因を提供しようと、消費者は自分が所属する社会集団で受け入れられないような発信はしません。消費者が発信したいのは、周囲の人から感謝され、尊敬される、あるいは楽しい人だと思われる情報です。

「今」に満足し、同じことを続ける。それは、陳腐化の始まりです。そこで「次の一手」。しかしそれは、急ごしらえで打てるものではありません。「一夜漬け」という漬物に頼ると、「シクジル」という汁に悩まされる、と教えられました。

目を凝らせば見えてくる世情を適確に捉え、耳を澄ませば聞こえてくる世上の弦き、美しくこころをうつ言の葉の数々。そこにロータリアンの奉仕のこころが響きあっているはずです。素晴らしい仲間たちロータリアンとご一緒できる12月号です。ご一読ください。(編集者)